

植物防疫情報第9号

令和 2年3月10日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

モモせん孔細菌病の伝染源量が平年より多いと考えられます。 春型枝病斑の切除と春季からの薬剤防除を徹底しましょう！

モモせん孔細菌病は近年多発傾向で（植物防疫情報第5号（令和元年8月16日発表）参照）、また、昨年10月は中旬に台風19号による強風があり、下旬の降水量は平年比約250%（アメダス岡山）となったことから、今作も伝染源量が平年よりも多く、また、広範囲に存在していると考えられます。岡山県病害虫防除所の調査によると、本病の重要な伝染源となる春型枝病斑は県下で一昨年に初めて確認され、昨年にも続けて確認されています（図1）。今作の被害を抑えるため、春型枝病斑の切除等の耕種的防除と春季からの薬剤防除を組み合わせた総合的防除を徹底しましょう。

1. 防除対策及び防除上の参考事項

- (1) 本病原菌は、春型枝病斑（図2）や夏型枝病斑（図3）から雨滴及び風で飛散・伝染します。発病枝は、葉や果実への重要な伝染源となりますので、見つけ次第、病斑部を残さないように健全部も含めて大きめに切除し、圃場外に持ち出す等適切に処分しましょう。
- (2) 本病原菌は葉や果実の表面（気孔など）や傷口から侵入します。風当たりの強い圃場では防風ネット等で防風対策し、病原菌の飛散を防ぎましょう。
- (3) 5月以降、葉に発病が見られる圃場では、果実の感染防止のため、早めに袋かけを行いましょ。特に、5月下旬頃に降雨が続くことが予想される場合には、降雨前に薬剤を散布し、薬剤が乾き次第袋かけを行いましょ。
- (4) 殺菌剤による防除は予防散布が基本です。多発してからでは効果が劣るので、下表を参考に早期の防除を心がけましょ。また、生育期には約10日間隔の定期的な防除を徹底ましょ。ただし、予防効果の高いストレプトマイシンを含む剤の使用時期は「収穫60日前まで」、総使用回数は「2回以内」です。極早生種や早生種に使用する場合は使用時期に注意して散布が遅れないようにましょ。

表 モモせん孔細菌病の主な防除薬剤

(R2.3.5現在)

散布時期	薬剤名	農薬使用基準			成分名	FRACコード 注4)
		希釈倍数	時期	回数		
3月下旬頃 (開花前)	カスミンボルドー	500倍	開花前まで	3回以内	カスガマイシン・銅	24・M1
	ICボルドー412	30～50倍	—注1)	—	銅	M1
	コサイド3000	1,000倍	開花前まで	—	銅	M1
	ムッシュボルドーDF	500倍	開花前まで	—	銅	M1
	キンセット水和剤80	1,000倍	収穫後～開花直前まで (但し、収穫60日前まで)	5回以内	銅・有機銅	M1
生育期	ストレプトマイシンを含む剤		収穫60日前まで	総使用回数 2回以内	ストレプトマイシン ストレプトマイシン ストレプトマイシン ストレプトマイシン オキシテトラサイクリン ・ストレプトマイシン	25 25 25 25 41・25
	ストマイ液剤20	1,000～2,000倍				
	アグレプト液剤、同水和剤	1,000～2,000倍				
	ヒトマイシン液剤S	250～500倍				
	マイシン20水和剤	1,000～2,000倍				
	アグリマイシン-100注2)	1,500倍				
	スターナ水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	オキシロニック酸	31
	バリダシン液剤5	500倍	収穫7日前まで	4回以内	バリダマイシン	U18
マイコシールド注2)	1,500～3,000倍	収穫21日前まで	5回以内	オキシテトラサイクリン	41	
マスタピース水和剤注3)	1,000～2,000倍	収穫前日まで	—	シュードモナス ロデシア	未	

注1) 薬害を生じる恐れがあるので、開花後から8月末までは使用しない。

注2) アグリマイシン-100とマイコシールドは同じ有効成分（オキシテトラサイクリン）を含む。

オキシテトラサイクリンの総使用回数（5回以内）に注意して散布する。

注3) マスタピース水和剤は微生物殺菌剤であるため単用が望ましい。

注4) FRAC(<https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/>)による農薬有効成分の作用機構の分類。

同一のFRACコードの薬剤については、耐性菌の発達を回避するため、連用を避ける。

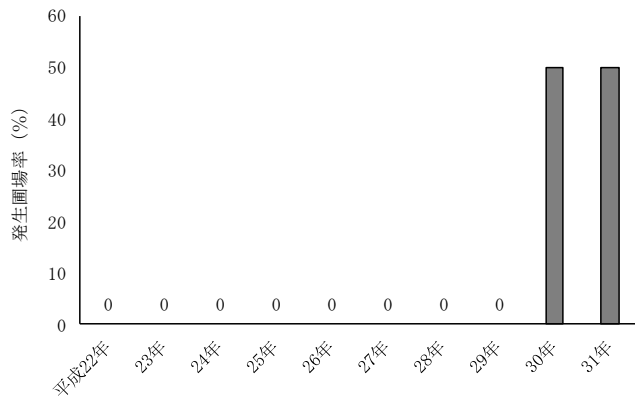


図1 岡山県内における4月下旬の春型枝病斑の発生推移
(岡山県病害虫防除所による巡回調査データ(7地点28圃場))



図2 春型枝病斑(囲み)

※1年生枝に開花期頃から紫褐色のへこんだ病斑を生じ、芽枯れを伴うことが多い



図3 夏型枝病斑(囲み)

※新梢に芽の付近から紫黒色の病斑を生じる

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

